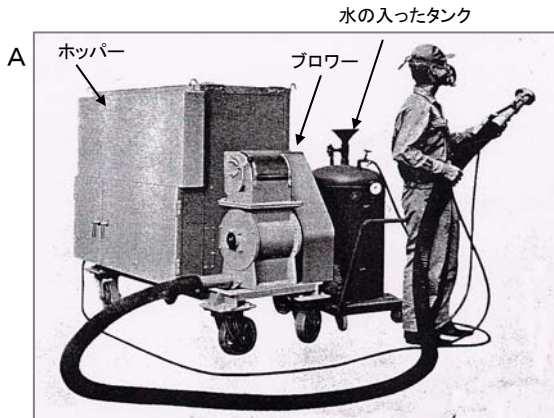


2 石綿や石綿含有岩綿等の吹きつけ・張りつけ等作業

【関連する職種(一般の呼称)】	
石綿・石綿含有岩綿吹きつけ、型枠大工、ハツリ、とび、鉄筋工、鍛冶工、解体工、電気工事士、雑役	水道屋、給排水配管、ダクト工、ガス配管 現場監督、施工管理、建築設計
【石綿製品(代表的な2, 3)】	
石綿吹きつけ材、石綿含有岩綿吹きつけ	石綿フェルト
石綿含有パーミキュライト吹きつけ	石綿含有パーライト吹きつけ



【概要】吹きつけ機の一例。左のホッパーに石綿を入れ、綿を更に細かく開綿しながら霧状の水およびブロワーの圧力で吹きつけます。綿が細かければ細かい程、仕上がりがキレイでした。



鉄骨の梁(はり)に耐火被覆として吹きつけているところです。この作業周辺は粉じんが舞っていて、作業者や周辺で作業をしていた者が高濃度ばく露した可能性があります。



概ね3人1組の作業で吹きつけ者(左)、それを木製のコテで押え付ける者(右)、および調合綿を機械に投入する作業員からなっていました。どの作業も全身に石綿ばく露した可能性があります。



写真は最近の岩綿吹きつけ(石綿は含まれていません)。仕組みは昔と変わらずホースの中央より綿が出て、その周囲の数箇所のノズルより霧状に水の圧力で対象物に付着させます。昔と較べて粉じんは少ないです。



石綿耐火被覆板。工場にてトロ箱(のし餅をつくる箱のようなもの)に茶石綿、混和剤、固化剤などを入れ乾燥させて板にしたものを現場で取付けました。板を取り扱う際に表面の石綿がはがれることがありました。



左の石綿耐火被覆板を梁に貼ったところ。釘・かすがい・接着剤(石綿入り)で施工しました。収まりを良くするために、現場で材料を形に合わせて切断することは必要な作業ですが、吹きつけ工法よりは粉じんの発生は少ないです。